

日本生態学会  
関東地区会

# 会 報

第 19 号  
1968.11.15

## 目 次

1. 中村方子：ポーランド及びソ連で見た事，学んだ事  
（1968年7月地区例会講演要旨） ..... 1
  
2. 関東地区内生態学関係研究者・研究論文リスト I ..... 1
  - 東 大 理 ..... 2
  - 海 洋 研 ..... 3
  - 畜 産 試 ..... 7
  - 林 試 ..... 7
  - 都立大・生 ..... 9
  - 農 工 大 ..... 11
  
3. 山城水草誌の複製版について ..... 13

# ポーランド及びソ連で見た事・学んだ事

## 1968.7. 例会講演要旨

4月6日から21日迄、ポーランドのワルシャワ及びクラカウで開催されたBIOENERGETICSのTraining courseに出席する為に、3月27日に日本を出て、モスクワにも立寄り、ここでは科学アカデミーの研究所二つを訪れ、バイカル湖の研究所にも立寄って5月3日に帰国したのでその様子を伝えた。(Training courseで扱った内容のプリント3枚ずつ配布、その説明を主にして后、装置のフィルム及びポーランドとソ連の自然をうつしたフィルムを若干映写説明した。)

プリントの内容は、以下のようである。

### △ 呼吸測定について

小型動物対象

- i) Cartesian divers ...  
...manometric gasometry.
- ii) Phillipson's respirometer ...定圧下、electrolytic.
- iii) Constant-pressure, volumetric respirom-

都立大・理・生・中村方子  
meter.

小型脊椎動物対象

- i) Kalabukhov-Skvortzov respirometer.
- ii) Morrison's respirometer . . . . .5~2000gの動物対象.

### △ Feedingに関すること

- i) Isotopeを用いて
- ii) Feeding cageを用いて
- iii) 餌を与えての観察
- iv) 胃の解剖

### △ Calorimetry

- i) Phillipson's calorimeter . . . . .非断熱的、微量.
- ii) 断熱的熱量計

### △ Soxlet apparatus を用いての Fat extraction.

(以上の他に必要な図を加えてある。)

附記(このTraining courseのテキストの写しが都立大・生態学研究室にありリコピー複写をする為に、利用可能である。)

## 関東地区内生態学関係研究者・研究論文リスト I

関東地区には基礎・応用の各方面にわたり生態学に関連する研究をおこなっている大学・研究所が数多くありますが、相互の研究交流は必ずしも充分とはいえません。

そこで、交流活発化の一助として、地区会

報で地区内の各研究機関で多少とも生態学に関連する研究を進めておられる方々(生態学会の会員・非会員を問わず)の氏名、当面の研究テーマ、発表論文の紹介をしていきたいと考えました。

今回は東大植物, 東大海洋研, 畜産試験場, 林業試験場, 都立大生物, 農工大のリストを紹介します。氏名リスト(大学院相当以上の研究者)は調査のおこなわれた本年7月の時点のもので, その後多少の変動はあり得ます。

論文リストは1964年度以降のものとし

ましたが, 海洋研, 林試のそれは論文数の関係から1964・65の兩年度に限り, それ以降のものは次号にまわしました。調査して下さった広井, 堀越, 大久保, 只木, 本谷の各氏に感謝いたします。他の機関の方々の今後の御協力をおねがいたします。(会報委員)

### <東京大学理学部植物学教室 植物生態学研究室>

- 門 司 正 三 : 生態系学  
佐 伯 敏 郎 : 数学モデル・生態生理学  
岩 城 英 夫 : 草原の物質生産・競争  
広 井 敏 男 : 植物の耐陰性・物質経済・競争  
中 西 正 己 : 水界植物群落の生長  
小 山 弘 道 : 植物群落の物質経済  
中 野 和 敬 : 生態系内の物質移動論  
自然資源の適正利用  
及 川 武 久 : 植物群落のエネルギー収支  
沢 田 信 一 : 植物の生産力と気候要因  
広 瀬 忠 樹 : 生態系の窒素代謝と物質生産  
古 幡 勇 : 植物の水に対する反応性  
大 沢 雅 彦 : 植物の物質再生産  
中 川 紀 子 : 栄養条件と植物の生長・生長物質  
崔 賢 燮 : 植物の光適応  
宋 承 達 : 生態系内の窒素循環

#### 発表論文リスト

- Hiroi, T. & Monsi, M., Physiological and ecological analysis of shade tolerance 4. 植雑77:1-9 (1964)  
Kuroiwa, S., Hiroi, T. Takada K. & Monsi, M., Distribution ratio of net photosynthate to photosynthetic and non-photosynthetic systems in shaded plants. 植雑77:37-42 (1964)  
Ino, Y. & Monsi, M., On the decomposition rate of soil organic matter in humic allophane soils of Mt. Kirigamine. 植雑77:168-175, (1964)  
Totsuka, T. & Monsi, M., An analysis of the ecophysiological adaptation of tobacco plant to a limited water supply. 植雑77:206-215 (1964)  
Ino, Y. & Monsi, M., Distribution of the increment in nutrient element in humic

allophane soils of Mt. Kirigamine. 植維77:215-221 (1964)

Midorikawa, B., Iwaki, H. & Hogetsu, K.: Studies on the productivity and nutrient element circulation in Kirigamine grassland, Central Japan I. Climate, soil and vegetation of Mt. Kirigamine. 植維77:260-269 (1964)

Iwaki, H., Midorikawa, B. & Hogetsu, K., -II. Seasonal change in standing crop. 植維77:447-457 (1964)

佐伯敏郎, 植物の「生長解析」植維78:111-119 (1965)

Nakanishi, M. & Monsi, M., Effect of variation in salinity on photosynthesis of phytoplankton growing in estuaries. 東大理紀要III, 9:19-42 (1965)

Ludwig, L. J., Saeki, T. & Evans, L. T., Photosynthesis in artificial communities of cotton plants in relation to leaf area. I. Experiments with progressive defoliation of mature plants. Aust. J. Biol. Sci., 18:1103-1118 (1965)

Hiroi, T. & Monsi, M., Dry-matter economy of Helianthus annuus communities grown at varying densities

and light intensities. 東大理紀要III, 9:241-285 (1966)

戸塚績, 高等植物の物質生産と炭酸ガス条件, 植維79:51-60 (1966)

Monsi, M., Mathematical models of plant communities. proc. Copenhagen Symp. Functioning of terrestrial ecosystems at the primary production level. 131-149. UNESCO, Paris (1968)

### <東京大学海洋研究所>

論文リストは生態学的な題名のものだけに限り, 生態学の基礎として不可分の関係にある分類学的, 動物学的論文は消略した。(堀越)

#### プランクトン部門

- 丸 茂 隆 三 : 動物プランクトンの生態・植物プランクトンの群集生態
- 根 本 敬 久 : オキアミ類の生態と分類・動物プランクトンの生産生態
- 村 野 正 昭 : *Phyllosoma* と *Myrsidacea* の生産生態と分類
- 大 森 信 : *Copepoda* とサクラエビ類の生態と分類
- 会 沢 安 志 : 遊泳性エビ類の生態
- 川 口 弘 一 : 魚類マイクロネクトンの生態
- 劉 光 日 : *Amphipoda* の生態
- 寺 崎 誠 : ヤムシ類の生態

李 秀 夫 : Copepodaの生態

発表論文リスト(1964, 1965年度)

Nemoto, T., Squids as the food of sperm whales in the Bering Sea and Alaskan Gulf, Sci. Rep. Whales Res. Inst., 18:111-122 (1964)

(奥谷と共著)

—————, School of baleen whales in the feeding areas, *ibid.*, 18:89-110 (1964)

村野正昭, 海隠丸で採集したプランクトン  
東京水大特研報7:91-107 (1964)

—————, イサザアミ *Neomysis intermedia Czerniawski* の漁業生物学的研究Ⅱ, 生活史, 特に生殖について, 水産増殖12:19-30 (1964)

—————, 同上Ⅳ, 生活史, 特に成長について, 同上12:109-117 (1964)

川口弘一, 駿河湾に於けるハシボソミズナギドリの大量斃死について, 山階鳥研報4:105-113 (1964) (丸茂隆三と共著)

Marumo, R., Plankton of the Kuroshio Water, Proc. Symp. Kuroshio, 1963:40-61 (1965)

(元田茂と共著)

Nemoto, T., On diagnosis of the fin whale population in the Antarctic and optimum level of catching, 東海水研報41:1-22 (1965) (土井・大隅と共著), Food of baleen whales in the gulf of Alaska of the North Pacific. Sci. Rep. Whales Res. Inst., 19:45-51

(1965) (柏谷と共著)

Omori, M., The distribution of zooplankton in the Bering Sea and northern North Pacific, as observed by high-speed sampling of the surface waters, with special reference to the copepods, J. Oceanogr. Soc. Jap., 21(1):18-27 (1965)

Omori, M., A 160cm opening-closing plankton net I. Description of the gear, II. Some notes on the towing behavior of the net, J. Oceanogr. Soc. Jap., 21(5):20-26, 21(6):9-16 (1965)

根本敬久, 黒湖流域におけるオキアミ類, プランクトン研連誌12:24-36 (1965)

会沢安志, 傾斜曳きにおける水中でのプランクトンネットの動き, 同上12:60-66 (1965) (丸茂・大森と共著)

—————, 相模湾における動物プランクトンおよびマイクロネクトン生物量の垂直分布, 同上松江記念号1-7 (1965)

#### 海洋微生物部門

多 賀 信 夫 : 海洋細菌の生態と生理  
関 文 威 : 海洋に於ける有機物の生産と分解

大和田 絃 一 : 海洋に於けるビタミン  
松 田 治 : バクテリアによるプランクトンの分解

佐々田 窓 : 海洋細菌の酵素活性

堀越増興 : 底生生物の群集・生産生態, 底生生物特に貝類の生態・分布・分類  
相生啓子 : 底生生物の群集・生産生態

発表論文リスト (1964, 1965年度)

Seki, F., Studies on microbial participation to food cycle in the sea I. Participation in the microcosmos at static condition, J. Oceanogr. Soc. Jap., 20:122-134 (1964)

Taga, N., Preliminary bacteriological analysis of marine sediment core collected from abyssal region of the Pacific Ocean (Studies of a deepsea core V 20-130 Part 2) Bull. Nation. Sci. Mus., 8(2):179-183 (1965)

Seki, F., Studies on microbial participation to food cycle in the sea II. Carbohydrate as the only organic source in the microcosm, J. Oceanogr. Soc. Jap., 20(6):24-31 (1965)

—————, Microbiological studies on the decomposition of chitin in marine environment VI. Chitinoclastic bacteria in the digestive tracts of whales from the Antarctic Ocean, *ibid.*

20(6):18-23 (1965) (多賀と共著), VII. Experimental consideration on survival conditions during the transport of chitinoclastic bacteria in the air and in the sea, *ibid.* 21(1):6-17 (1965) (多賀と共著), VIII. Distribution of chitinoclastic bacteria in the pelagic and neritic waters, *ibid.* 21(4):36-49 (1965), IX. Rough estimation on chitin decomposition in the ocean, *ibid.* 21(6):17-24 (1965), X. Decomposition of chitin in marine sediments, *ibid.* 21(6):25-33 (1965)

資源生物部門

西脇昌治 : 水生哺乳動物の資源生態 (含分類)  
梶原武 : コウイカ類の資源生態バイオテレメトリーの開発と応用  
沼知健一 : 酵素の多型を通じた魚類集団  
柏谷俊雄 : 小型歯鯨類の生態と分類  
安永義暢 : イカ類の資源生態 (コウイカの年令査定)  
内藤靖彦 : アザラシの生態  
広瀬慶二 : 魚類及鯨類の成熟の生理

発表論文リスト (1964, 1965年度)

Nishiwaki, M., Revision of the article "Taxonomical consideration on genera of Delphinidae" in No. 17, Sci. Rep. Whales Res. Inst., 18 : (1964)

—————, Records of the beaked whale *Mesoplodon* from the Japan Sea, 東大瀬戸臨海紀要 12(4) (1964) (西村と共著)

梶原武, 海産汚損付着生物の生態学的研究, 長崎大水産研報 16 : 1-138 (1964)

Nishiwaki, M., A rare species of dolphin (*Stenella attenuata*) from Arari, Japan, Sci. Rep. Whales Res. Inst. 19 (1965) (中島・神谷と共著)

—————, *Feresa attenuata* were caught and Kept at Ito, Japan, *ibid.* 19 (1965) (粕谷, 鳥羽山, 中島, 神谷と共著)

—————, The first occurrence of a porpoise (*Electra electra*) in Japan, *ibid.* 19 (1965) (中島と共著)

沼知健一, 松島湾におけるカキの大量斃死に関する研究Ⅱ, 移植試験による斃死要因の探究と防禦策の検討, 東北水研報 25 : 27-38 (1965)

資源解析部門

田中昌一 : モジャコ及びサケ・マス等の資源量, 実験個体群による資源量の解

析

石井大夫 : マグロ類の資源特性値の推定, 電子計算機による漁群探知機記録中の大型個体の判別及び計数

茂木雅子 : サンマの資源量

楊 榮宗 : マグロ類の系統群の解析

発表論文リスト (1964, 1965年度)

田中昌一, サクラマスに関する生物学的知見, 北太平洋漁業国際委員会研究報告 (カナダ・バンクーバー) 16 : 67-111 (1965)

石井大夫, 大西洋主に東部水域産のピンナガの外部形態による系統解析, 日水誌 3 1(5) : 333-339 (1965)

漁業測定部門

草下孝也 : 漁具に対する魚類の反応行動

K. P. P. Nambiar : 曳網に対する魚群の行動

発表論文 (1964・1965年度)

草下孝也, 螢光灯の集魚効果と水中昭度, 日水誌 3 1(3) : 187-191 (1965)

海洋生化学部門

服部明彦 : 海洋の窒素化合物の生化学

藤田善彦 : 海洋における光合成と光生物学

和田英太郎 : 同位体による海洋の窒素循環

大森正之 : 海洋における窒素固定

<農林省畜産試験場>

〔飼料作物部第1研〕

大久保 忠 且 : 牧草の物質生産(草地生態系のエネルギー効率)

〔飼料作物部第2研〕

上 野 昌 彦 : 牧草根の機能

〔飼料作物部第6研〕

内 藤 篤 : 吸収性昆虫による飼料作物の障害

中 塚 憲 次 : アワヨトウの発生機構

奥 村 隆 史 : アルファルファのアラムシの生態

〔飼料技術部第1研〕

野 田 真五郎 }  
渡 辺 和 雄 } 放牧子牛の発育と行動  
田 畑 一 良 }

〔生理部生理第5研〕

辰 己 博 }  
野 村 巖 } 気象要素が乳牛の生理機能に及ぼす影響  
加 藤 道 弘 }  
穴 戸 弘 明 }

〔草地部第5研〕

熊 井 清 雄 : 飼料作物の乾物生産、再生の生理生態

発表論文リスト

大久保忠且・星野正生・西村修一、クロロフィル量による牧草の物質生産の解析I。ラジノクローバの再生長における葉面積指数とクロロフィル量の推移, 日作紀33(2), (1964)

熊井清雄・広瀬又三郎・真田雅, 飼料作物の乾物生産に関する研究I, ラジノクローバの生育相ならびにその季節別の成長解析につ

いて, 日草誌11(1) (1965)

Nishimura, S., Okubo, T. & Hoshino, M., Light transmission and chlorophyll amount in a sward as substitutes for leaf-area index, proc. X Internat. Grassland Congress (1966)

Ueno, M. & Yoshihara, K., Spring and summer root growth of some temperate region grasses and summer root growth of tropical grasses. J. Brit. Grassl. Soc., 22(2) (1967)

上野昌彦・吉原潔, マメ科牧草の根に関する研究II, 根ぐされについての二三の観察 日草誌12(4) (1967)

内藤篤・正木十二郎, ツマグロヨコバイの摂食行動に関する研究I, 寄生植物への口針挿入II, 成虫の口針挿入頻度, 応動昆1.1(2) 11(4) (1967)

<農林省林業試験場>

〔造林部造林第2研〕

蜂 屋 欣 二 }  
只 木 良 也 } 森林の物質生産  
棚 秋 一 延 }

〔造林部植生研〕

前 田 禎 三 : 植物分類, 稚樹の発生消長

荻 住 昇 : 樹木の根の生態

〔造林部除草剤研〕

真 部 辰 夫 : 森地植生の消長



荒木武夫 }  
浅沼晟吾 } 森地植生の消長

〔造林部造林科〕

草下正夫 : 植物分類, 分布

〔土壌調査部土壌調査科〕

黒鳥忠 : 土壌成生

〔土壌調査部土壌第1研〕

松井光瑤 }  
小島俊郎 } 種々の環境と森林の生  
長

〔土壌調査部土壌第3研〕

真下育久 : 種々の環境と森林の生  
長

宮川清 : 稚樹の発消長

〔土壌調査部土壌肥料科〕

塘隆男 : 樹木の栄養と生長

〔土壌調査部土壌微生物研〕

小川真 : マツタケ

〔防災部治山第2研〕

高橋啓二 : 植物による防災

〔防災部気象研〕

岡上正夫 : 森林気象

〔保護部樹病科〕

千葉修 : マツ類病害の発生環境

〔保護部樹病研〕

小林亨夫 : スギ・カラマツの病害  
発生環境

魚住正 : モミ類病害の発生環境

真宮靖治 : 土壌線虫類の生態

〔保護部菌類研〕

今関六也 : 材質腐朽菌の発生環境,  
野生菌類の生態

青島清雄 }  
林康夫 } 材質腐朽菌の発生環境

古川久彦 : 野生菌類の生態

〔保護部昆虫科〕

小田久五 : まつくいむしの生態と  
防除

〔保護部昆虫第1研〕

山田房男 : マツカレハの生態

萩原実 : スギノハダニの生態と  
防除

森本桂 : シロアリの分類と生態,  
ゾウムシ類の分類

小林一三 }  
山崎三郎 } マツカレハおよびまつ  
のしんくいむし類の生  
態と防除

〔保護部昆虫第2研〕

野淵輝 : 森林昆虫 (特にキクイ  
ムシ類) の分類

山根明臣 : 昆虫の生理および樹木  
生理

遠田暢夫 : 森林昆虫 (特にコウモ  
リガ) の生態と防除

古田公人 : 森林昆虫の個体群動態

〔浅川実験林天敵微生物研〕

片桐一正 }  
岩田善三 } 昆虫病理, 森林昆虫の  
串田保 } 生態調査

発表論文リスト (1964, 1965年度)

蜂屋欣二・安藤貴, スギ人工林の密度と生  
長, 75回林講: 340-342 (1964)

—————, 土井恭次・小林玲爾, アカ  
マツ林の林分成長の解析—岩手地方壮令人工  
林の一例, 林試研報176: 75-88 (1964)

只木良也・尾方信夫・長友安男・吉岡清・  
宮川良華, 森林の生産構造に関する研究

(V) 長崎足場丸太生産スギ材の生産力につ  
いて, 日林誌46: 246-253 (1964)

九州スギ森  
の物質生産力, 林試研報 173:45-66  
(1964)

小島圭三・片桐一正, マツノマダラカマキ  
リの令期と令構成の動き, 日林誌 46:309  
-310 (1964)

Tadaki, Y., Studies on prod-  
uction structure of forest  
(VII) The primary production  
of a young stand of *Castan-  
opsis cuspidata*, 日生態誌 15:142  
-147 (1965)

只木良也, 同上 (VII) 立木密度の高いモリ  
シマアカシヤ林の生産力, 日林誌 47:384  
-391 (1965)

蜂屋欣二・羽秋一延・成田忠範, アカマツ  
天然生林の林分成長の解析—地位のちがいと  
成長との関係, 76回日林講:161-162  
(1965)

藤森隆郎, アカマツ林の落葉につ  
いて, 同上:163-164 (1965)

羽秋一延・蜂屋欣二, 植栽様式をちがえた  
アカマツ林の成長比較, 同上:293-295  
(1965)

塘隆男・藤田桂治・岩崎美代, 床替密度が  
スギ苗の形質に及ぼす影響, 同上 (1965)

高橋啓二・堀江保夫, 植物の耐塩水性(1)  
防潮林構成植物選定のための実験, 林試研報  
183:131-151 (1965)

千葉修ほか, カラマツ落葉病の発生環境調  
査同上 178:48-71 (1965)

小林亨夫・魚住正・浜武人, カラマツがん  
し病の被害解析 (II) 76回日林講:  
317-320 (1965)

遠田暢夫, 本邦産ポプラおよびヤナギ属植

物の害虫, 林試研報 182:1-41 (1965)

東京都立大学理学部生  
物学教室生態学研究室

- 宝月欣二 : 植物群落の物質経済
- 北沢右三 : 動物群集の物質経済,  
生物地理
- 翠川文次郎 : 草原の物質代謝
- 中村方子 : 動物個体群の動態
- 木村允 : 森林・樹木の生理・生  
態
- 斉藤晋 : 節足動物個体群のエネ  
ルギー代謝
- 武藤信子 : 高等植物の生長と栄養  
塩類経済
- 沖野外輝夫 : 青粉の研究
- 吉田勝彦 : 湖沼の物質代謝
- 横井洋太 : 高等植物の生長解析
- 新島溪子 : 土壤動物の個体群動態
- 中本信忠 : 植物プランクトン群落  
の生長解析
- 船越真樹 : ケイ藻類を中心とした  
赤湖の研究
- 松本忠夫 : 昆虫の物質経済及びエ  
ネルギー代謝

発表論文リスト

Nakamura, M., Kondo, M., Ito,  
Y., Miyashita, K. & Nakamura,  
K., Population dynamics of  
the chestnut gall-wasp *Dry-  
ocosmus Kuriphilus Yasumat-  
su* (Hymenoptera:Cynipidae)  
I. Description of the survey  
stations and the life hist-

ories of the gall wasp and its parasites, 応動昆8:149-158 (1964)

Midorikawa, B., Iwaki, H., & Hogetsu (1964) [ 東大理・植の項参照]

Iwaki, H., Midorikawa, B. & Hogetsu (1964) [ 東大理・植の項参照]

木村允・本谷勲, 植物の生長と物質経済, 生物科学16:137-144 (1964)

北沢右三, 丹沢山塊の動物相と動物地理, 丹沢大山学術調査報告書335-338 (1964)

———・中村方子・斉藤晋, 丹沢山塊の原生生態系と動物群集, 同上255-291 (1964)

斉藤晋・関根和伯・土尾清喜・北沢右三, 丹沢山水系の動物生態学的研究, 同上302-344 (1964)

Nakamura, M., Bioeconomics of some larval populations of pleurostict scarabacidae on the flood plain of the River Tamagawa, 日生態誌15:1-18 (1965)

Saito, S., Structure and energetics of the population of Ligidium japonicum (Isopoda) in a warm temperate forest ecosystem, *ibid*, 15:47-55 (1965)

Miyashita, K., Ito, Y., Nakamura, M. & Kondo, M., Population dynamics of the chestnut gall-wasp, Dryocosmus Kuriphilus Yasunatsu (Hymenoptera: cynipidae) III. Five year

observation on population fluctuations, 応動昆9:42-52 (1965)

中村方子, 陸上生物群集の生産力測定に関する諸問題, 日生態誌16:79-84 (1966)

横井洋太, 高等植物体内における物質転形の生態学的考察, 主として貯蔵物質からの芽ばえの形成について, 生物科学18:147-154 (1966)

山岸宏・中村譲・和田芳武・沖野外輝夫・中本信忠, グッピーの生態学的研究I, 日本の温泉地において自然繁殖するグッピーについて, 衛生動物17:48-58 (1966)

中村方子・桜井信夫・千羽晋示, 森林における落葉の消失と土壤無脊椎動物について, 自然教育園の生物群集に関する調査報告 I:99-118 (1966)

新島溪子, 北八ヶ岳亜高山帯針葉樹林の粘管目, 昆虫34:244-247 (1966)

———, 北アルプス立山の高山帯における粘管目, 同上34:339-346 (1966)

Yamagishi, H. & Okino, T., Dissolved oxygen, bloom of Microcystis and "Susu-mizu" of summer-autumn season in Lake Suwa. 信大理紀要2:139-148 (1967)

Kikuzawa, K., Saichvae, P., Nijima, K., Tanaka, M. & Aoki, J., On the sampling and extracting technique for soil micro-Anthropods, 日生態誌17:20-28, (1967)

Saito, S., Productivity of high and low density popul-

ation of Japonaria laninata  
armigera (diplopoda) in a  
warm-temperate forest ecos-  
ystem, Res. Popul. Ecol. 9:  
153-166 (1967)

林季剛・翠川文次郎・宝月欣二, ジャガイ  
モおよびイネの初期生長期における貯蔵物質  
の植物体への転化の効率 (economic ra-  
tio) について, 日生態誌 17: 13-20  
(1967)

山岸宏・沖野外輝夫・中本信忠・中村譲・  
和田芳武, グッピーの生態学的研究Ⅲ, 戸倉  
・上山田温泉の湯尻に環境順化したグッピー  
個体群について, 日生態誌 17: 206-213  
(1967)

Kimura, M., Mototani, I. &  
Hogetsu, K., Ecological and  
physiological studies on  
the vegetation of Mt. Shi-  
magare VI. Growth and dry  
matter production of young  
Abies stand, 植維 81: 287-296  
(1968)

Mutoh, N., Yoshida, K. H., Yo-  
koi, Y., Kimura, M. & Hogetsu,  
K., Studies on the product-  
ion processes and net pro-  
duction of Miscanthus sac-  
chariflorus community, Jap.  
J. Bot., 20: 67-92 (1968)

Kitazawa, Y., Community me-  
tabolism of soil inverteb-  
rates in forest ecosystems  
of Japan, Secondary produc-  
tivity of terrestrial ec-

osystems (ed.): 649-661 (1968)

<東京農工大学>

[農学部林学教室造林学研究室]

川名 明 : 森林植物におよぼす立  
地・薬剤・肥料の影響  
相場 芳憲 : 森林立地と林木の栄養  
生理およびケミカルコ  
ントロール

[農学部林学教室森林防災学研究室]

塚本 良則 : 山地流域の水収支

[農学部生産工学教室農業水利学研究室]

鈴木 重義 : 陸地の蒸発散量の測定

[農学部養蚕学教室栽桑学研究室]

木間 慎 : クワを中心とする養分  
吸収およびその機作に  
およぼす除草剤の影響

[農学部植物防疫学教室防除生態学研究室]

1. 高等植物の水分代謝  
と物質生産  
2. 高等植物の物質生産  
に対する化学物質の  
影響

田崎 忠良

牛島 忠広

瀬戸 昌之 : 微生物による有機物分  
解の能率

増田 裕 : 植物の水状態と物質生  
産

候 清利 : 数種植物の乾物生長に  
対する化学物質の影響

[農学部植物防疫学教室害虫学研究室]

平井 剛 : 鱗翅類の行動・光周性

[一般教育部生物学研究室]

日高 敏隆

小原 嘉明

鱗翅類の行動・光周性

本谷 勲 : 植物の物質生産の数学モデル  
植物の生活形と物質生産・物質経済

〔農学部波丘地農業研究所〕

杉本文三 : 波丘地形における農・林生産

発表論文リスト

川名明, 堤列海岸平野の低地過湿林の改良に関する研究。東農工大演林報, 4, 1-115 (1966) (別刷あり)

相場芳憲・川名明・生原喜久雄, 森林土壌の酸度の簡単なしらべ方。日林誌, 49, 373-378, 1967 (別刷あり)

川名明・相場芳憲・他, 枯殺剤の林学的応用に関する研究。日林誌, (II) 1964, (V) 1966, (XIV) 1967, (別刷あり)

川名明・相場芳憲・他, 森林土壌の置換酸度と磷酸吸収係数の簡単なしらべかた。日林誌, 47, 401-405, 1965 (別刷あり)

川名明・相場芳憲・他, 壮令林の肥培に関する研究 (I) スギ壮令林の肥効について (その1) 東農工大演林報, 7, 1-8, 1968 (別刷あり)

川名明・相場芳憲・他, 壮令林の肥培に関する研究 (II) ヒノキ壮令林の肥効について (その1) 東農工大演林報, 7, 9-13, 1968, (別刷あり)

相場芳憲・他, 育苗技術に関する研究 (I) スギの稚苗に対する日覆と灌水の影響, 東農工大演林報, 7, 47-51, 1968, (別刷あり)

Aiba, Y., The movement of phosphorus in young pine plants. Bull. Tokyo Univ.

Forests, No. 64, 1968. (別刷あり)

塚本良則, 東山流域の水文学的性格 II, 流域の水収支について, 東大演林報, 15, 83-103, 1964. (別刷あり)

—————, 林内の雨滴と飛沫侵蝕, 東農工大演林報, 5, 65-77, 1966, (別刷あり)

—————, 山地流域内に起る水文現象の解析, 東農工大演林報, 6, 1-79, 1967

本間慎・田崎忠良, 栽培クワの条呼吸量についての基礎的実験, 日蚕雑, 33, 382-388, 1964, (別刷あり)

牛島忠広, 山地桑園 (長野県大室農場) と平地桑園 (東京農工大学小金井農場) の物質生産力に関する研究, 日蚕雑, 33(4): 293-299, 1964, (別刷あり)

Kuraishi, S., Tezuka, T., Ushijima, T. and Tazaki, T., Effect of Cytokinins on Frost Hardiness, Plant & Cell Physiol. 7:705-706, 1966 (別刷あり)

Kuraishi, S., Arai, N., Ushijima, T., and Tazaki, T., Oxidized and Reduced Nicotinamide Adenine Dinucleotide Phosphate Levels of Plants Hardened and Unhardened against chilling Injury, Plant Physiology 43(2): 238-242, 1968 (別刷あり)

牛島忠広, 高等植物の水分欠乏と光合成, 生物化学 19(2): 66-72, 1967 (別刷あり)

小原嘉明・日高敏隆, モンシロチョウ (*Pieris rapae crucivora*) の配偶行動に関する研究 I, 採雌飛翔雄に対する

静止雄のFlutter response について。Ⅱ雌の“交雑拒否姿勢”について。動物学雑誌, 73, 131-135, 175-178, (1964) (別刷あり)

Hidaka, T. and Takahashi, H. Temperature conditions and maternal effect as modifying factors in the photoperiodic control of the seasonal form in Polygonia c-aureum. Annotations Zoological Jap. 40, 200-204, 1967

本谷勲・沖野外輝夫, 汚濁河川水の自浄作用に関する基礎的研究2. 好氣的条件における微生物の増殖と汚濁水の浄化の関係。水質汚濁研究, 3, 29-37, 1964 (別刷あり)  
本谷勲, 河川の汚染と生物, 生物科学, 16, 74-78, 1964 (別刷なし)

会費納入について  
事務局からのお願い

生態学会誌ですでに御承知のとおり、本部会費は1,500円です。

これに地区会費100円を加えて1,600円をお払い下さい。現在までに納入された中で、本部費を旧いままか、地区会費を忘れていた方が約60%もいます。御注意下さい。

山城水草誌の複製版

三木茂著 1937. 山城水草誌 127頁  
(図66, 写真プレート4)

内容: わが国の水草全般についての生態学的特性と分類学的な記載があり, 豊富な図は分類にやくだち良い図鑑となる。

大阪市大の高田英夫教授から上記の複製版の出版について連絡をうけました。価格は、1000円±α円ということです。このαは

何冊つくるかに関係しますので、希望数がある程度知りたいそうです。

ご希望の方はお手数ですが、下記にご連絡下さい。

千葉県弥生町1 (〒280)

千葉大学理学部生物学教室

TEL 千葉 (0472) 51, 1111

内線 (313)

生 嶋 功

会報第19号

1968年6月 日 発行

編集責任者 木村 允・伊藤嘉昭

日本生態学会関東地区会事務局

東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学農学部植物防疫学教室

TEL 0423-64-3311

(内) 366, 263

振替 東京 89344